

2月といえば世間はチョコレートだらけになりますよね。今月はチョコレートのおはなしです。

『こねこのチョコレート』

B・K・ウィルソン／作 小林 いつみ／訳 大社 玲子／絵 こぐま社

2004年 1188円

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年★★☆ 小中学年★☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ジェニーはおとうとのたんじょうびプレゼントにこねこのチョコレートをかいました。ジェニーのいえにいるねこのティブルがちいさかったときみたいなかわいいチョコレートです。でも、よるのうちにチョコレートはぜんぶジェニーのおなかのなかに…!

つぎのひはおとうとのたんじょうび。からっぽのチョコレートのほしかあげることができなかつたジェニーがないていると、おとうさんがみんなをよびました。ティブルもプレゼントをよういしてくれたのです!

<子どもに手渡す時のポイント>

今回ご紹介するのは絵本ですが、このおはなしはストーリーテリングでも楽しめます。ストーリーテリングのテキストは『愛蔵版おはなしのろうそく 10 まめたろう』(東京子ども図書館／編纂 東京子ども図書館 2010年 1728円)がおすすです!

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村